

33 北谷王子と黒鉄座主（口）

昔、黒鉄座主くろかにざーしというのがおりまして、これは催眠術の上手な方であつたらしいです。ある日のこと、王子がその黒鉄座主に、

「私を殺すことができるか。私をお前が殺すことができるか」と言うて、黒鉄座主に話したところが、

「あんたぐらいの人を取つて退けることは私は問題じゃありません。いつでも、あんただつたら取つて退けますよ」と言うもんだから、

「それなら取つて退けてみれ」と言うて、

「それじゃ、何月何日にそういうことをやる日に決めよう」と言うて、黒鉄座主とその王子が話を決めて、とうとうその日がやつて来たらしいですね。

そうするというと、その時刻になるといふと、本当に、自分の住んでいる、王子だから宮中ですね。宮中の建物が一斉に地響きをして、地震が、大きな地震が起きたようにして、家もがちがちがち、ごちごち

ごちごちして、もう今にも倒れそうな格好をして来たらしいです。それで、『これじゃ大変だ。これはもう私、約束をしたんだが、こいつはやっぱりやるんだなあ』と思つて。今度はまた、ウングンチョーローというお師匠さんがいらつしやいますので、そのお師匠さんのところに王子が行つて、

「実はこういうふうな約束をしてしまったところが、私はそんなことはしないだろうと思つて約束したんだけれども、実は、これは本当に私を殺すことができる。これどうしたらいいか、ウングンチョーロー助けてくれ」と言うて、王子がウングンチョーローをお願いしたところが、

「あんたは大変なお約束をされますね。あれは、そのぐらいのことはやり遂げますよ。大変ですよ。大変な人間ですよ。それじゃあ、お救いしましょう」と言うて、そのウングンチョーローがチョーグンで、術をかけるというと、ウングンチョーローがそれ、チョーグンを吹き返すようなチョーグンをかけられておつたらしいです。そうしたもんだから、黒鉄座主も、

「ああ、これはまた、ウングンチョーローの仕業だな

あ。これは約束が違う」と言うて、黒鉄座主は、その王子のところへ来て、言ったところが、「ああ、それは私が悪かった。私が悪かったから許してくれ」と言うて、難を逃れたという話ですが、そのくらい力が、この黒金座主というのはあったらしいですね。

字照屋 上江洲由豊